

AI IoT Robotis Automotive部会 の ご紹介

2022年7月版

OSSコンソーシアム

AIR部会について

(1)目的

IoT/組込み分野、ロボット/自動運転とそのための人工知能(AI)分野などで使用されるオープンソース・ソフトウェア(OSS)の情報収集を行い、それらの特徴の議論を行い、情報を整理&共有する。また、当該分野におけるOSSの普及・利用の促進を行う。

(2)参加対象

IoT/組込み,ロボット、自動運転、その人工知能分野のOSSに興味がある人

(3)活動内容

AI, ロボット,自動運転, Android, Linux, BSD, OpenSolaris, OpenCVなどの組込み応用について調査や、議論する。

(4)活動周期

場所：部会を二ヶ月に一回 都内で開催

(5)メリット&成果物

5G、AI、ロボット、自動運転などの組込みでのOSS活用技術及び動向に関する最新情報が入手できる

オープンソースの組み込みCPUやFPGA技術について最新情報共有できる

部会での調査・議論結果を成果物として展開する

AIR部会主催のセミナー実施をする

AIR部会について

(6) リーダー名

株式会社アックス 代表取締役社長 竹岡 尚三

ユニテックシステム株式会社 宇田川 勝一

(7) (一社)組込みシステム技術協会 (JASA) OSS活用WGと連携活動中

(8) 名称の変遷

組込み部会



Cyber Physical Embedded部会



AI IoT Robotics Automotive部会

(9) 組み込み女子部創設を計画中

東京でのセミナー開催実績

2016年8月6日「女子にも優しいIoTハンズ・オンセミナー」
JASA会議室にて開催
Raspberry Piを活用したセンシングハンズ・オン

2016年8月23日「女子にも優しいIoT Azureハンズ・オンセミナー」
日本マイクロソフト本社にて開催
IoT ALGYANとの共催でAzure活用とセンサデバイス利用の応用

2017年5月19日「いまさら聞けないIoTクラウド超入門」
JASA会議室にて開催
DB部会との合同セミナーとしてセンシングとDBの応用、
データの見える化について実施

2017年8月26日「夏休みはんだセミナー」
JASA会議室にて開催
IchigoJAM基盤に部品をはんだ付けし、動作検証（内蔵BASIC起動）

2019度以降東京セミナー実績

2019年8月24日「夏休み子供向けはんだセミナー」を開催

DHT会議室にて開催

メロディチップを専用基盤にはんだ付けし、動作検証（メロディの再生確認）

ゲストにIoT女子の高町さんを迎えて親子でペアを組んで全員メロディの再生確認を達成

2020年7月14、2021年3月24日

JASA開催のオンライン組み込みハンズオンセミナーに審査員として参加

IoT基盤と画像AI処理を駆使したコンテスト

2021年3月16日「5G実験施設見学会」を開催

NTT中央研修センターにおいて5G実験施設見学会を実施

5Gの現状について簡易セミナーと実験機器や実験内容の説明を受けた

2022年3月18日「Cによる初心者向け組込開発オンラインセミナー」

C言語を用いた組み込み開発の概要を実施

またオープンソースCPU、開発ツール等の現状について解説

過去に実施した女子ハンダ付け勉強会

- いわゆるハンズオン
- Android連携マイコンなど
- 子供版も計画中



女性エンジニアが
はんだ付け勉強会
OSSコンソーシアム
組込み部会女子部主催
オープンソースビジネス
推進団体であるOSSコン
ソーシアム（会長＝渡辺剛
喜・サイバーコム副社長）
の組込み部会女子部主催に
よる「ハンダ付け勉強会」
が23日、若松通商6階のア
キバNET館で行われた。
女性エンジニアから「は
んだ付けを体験し、ものづ
くりをしたい」という声が
上がり実現したもので、今
回が4回目の開催。参加者
は組込み系、IT系など部
会以外の一般参加もあり、
女性5人、サポート男性6
人。書籍付録の基板を利用
し、Arduino。互換ボ
ードを作成した。

参加者からは「はんだ付
けは経験しておいた方がい
いと思った」「業界の人と交
流できる場がうれしい」と
様々な声があ
がっていた。
小暮敦彦ア
キバNET館
館長は「当館
は、技術者の
交流の場とし
て新ビジネス
モデルの創出
を図ることも
目的。こうい
う勉強会は歡
迎する」と話
す。

女子による女子のための勉強会
(アキバネット館で)

女子ハンダ付け会@アキバの風景

メイドさんとか、ポリスとか、フツーの人とか が出席



5G機器、アンテナの様子

